

宇宙太陽光利用のエネルギーと学ぶ
道高校理科研究会
十勝支部物理部会

【大樹】管内の高校理科教師で構成する「道高等学校理科研究会十勝支部」(支部長・吉澤正伸 池田高校校長)の物理部会が主催する勉強会が、このほど町多目的航空公

園で開かれた。クリーンエネルギーとして期待される「宇宙太陽光利用システム」などについて学んだ。

同十勝支部は物理や生物、地学など5部会で構成。年に1、2回、それぞれが勉強会を主催している。この日は15人が参加した。

宇宙航空研究開発機構



(JAXA) 高度ミッション研究センターの森裕センター長が「宇宙の太陽光 未来のエネルギー」をテーマに講演。「地球温暖化による自然災害が増えており、温室効果ガスの排出抑制を早急に行う必要がある。宇宙太陽光はクリーンで革新的なエネルギー」と

午後からは大樹町役場総務企画課企画グループの黒川豊王君が「これからの宇宙開発、大樹町から」と題し、町の取り組みなどを説明した。(北雅貴)

森センター長(左)から宇宙太陽光利用システムの説明を受ける教諭

話した。

また、地上約3万6000㎡の静止軌道上で巨大な鏡の付いた装置で太陽光を収集、マイクロ波やレーザー